

探究・校務改革 支援補助金 2025

令和6年度補正予算
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

効果報告レポート

【事業者名】

①Nissay MIRAIQA株式会社(幹事者)

※2025年11月4日付で旧社名ミッドナイトブラックファスト株式会社より
Nissay MIRAIQA株式会社に社名を変更

②一般社団法人国際エデュテイメント協会(構成員)

【サービス名称】

①muute for school

②SDGsオンライン探究教材「クリティカル」

【サービス支援項目】

カテゴリー1 探究的な学びの高度化 メインサービス

2026年1月

クリティカル

SDGs 探究教材



muute
for School

■ 探究・校務改革支援サービスの概要

1. サービスの概要、特徴 <AIジャーナリングアプリ「muute for school」>

■ サービス概要: 自分の思考と感情をありのままアプリに書き出すことによって、自己内省や自己理解を促すAIジャーナリングサービス。

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

■ AIによる客観的な分析: 投稿された思考や感情をAIが分析し、週・月でフィードバック(インサイト)が見れる

■ 繋がらない安心空間: SNSのように他者と繋がることがないので、「自分とAIだけの空間」で(教員も内容は見えない設計)本音を吐き出すことが出来る

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

■ 生徒の自己理解促進: ジャーナリングを通して自身をメタ認知することで、他者理解や共感性を育む効果

■ 生徒へのメンタルヘルス向上: 気持ちを言語化することでストレスの低減や集中力の向上する効果

■ 先生の生徒理解の向上: 生徒の感情や思考が可視化されるため、生徒の本心を基にコミュニケーション出来る効果

(3) サービスの活用場面

■ 朝礼・終礼: 1日の始まりと終わりに気持ちを切り替え、振り返りを行うのに使用

■ 探究活動や学校行事: 自分の興味関心や物事へのモチベーションを可視化し、把握するのに使用

■ メンタルケア: ストレスや不安を感じたときなど日常的に使用

(4) 1サービスあたりの標準販売価格

■ 年間契約で生徒一人当たり3,960円(税込)

※利用料に初期設定は含まれません。ユーザ様側で設定いただく必要がございます。

※利用料に通信費は含まれません。

2. サポート内容(サービスの利用に際しての自社のサポート体制等)

・初期設定、セットアップ(アカウント発行やログインサポート、マニュアル配布等)

・保守、メンテナンス、問い合わせ等の実施

・導入説明会の実施

1. サービスの概要、特徴<SDGsオンライン探究プログラム「クリティカル」>

■ サービス概要: SDGs17ゴールをテーマに、国内外の事例や当事者のインタビューを通じて批判的思考力を養い、自己の興味関心を探究するオンラインプログラム。

(1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

全68レッスンの圧倒的情報と、各レッスンに収録された「答えのない問い」により、深い思考と学ぶを促進する。類似する探求プログラムよりも体系的かつ多角的に社会的な本質について迫ることができる。

(2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

各レッスンに収録された「正解のない問い」に取り組むことで、表面的な知識取得に留まらず、自身の興味関心に基づいた深い思考と探究学習を促します。また、SDGsの全ゴールを網羅した教材がパッケージ化されているため、先生方がゼロから資料や教材を作成する必要がなく、カリキュラム作成などの業務削減を可能にさせます。

(3) サービスの活用場面

総合的な探究の時間、教科横断的な学習

(4) 1サービスあたりの標準販売価格

■ 年間契約で生徒一人当たり9,900円(税込)

※利用料に初期設定は含まれません。ユーザ様側で設定いただく必要がございます。

※利用料に通信費は含まれません。

2. サポート内容(サービスの利用に際しての自社のサポート体制等)

- ・初期設定、セットアップ(アカウント発行やログインサポート、マニュアル配布等)
- ・保守、メンテナンス、問い合わせ等の実施
- ・導入説明会の実施

■ 学校等教育機関の課題と解決策

教育現場では、生徒の「自己内省力の不足」「表現力の不足」と、教員の多忙化により生徒一人ひとりへの個別対応や把握の限界という二極化された課題が存在します。「muute for school」は、テクノロジーを活用し、生徒に対して、自分を知る機会を提供し「振り返りの習慣化」を促進します。「クリティカル」は、さまざまな社会テーマを多角的に考えるエクササイズができ、考える力を養います。

児童生徒・教職員が抱える課題

- 生徒たちが自分の感情や1日の出来事を振り返る機会がない(習慣がない)
- 自分で振り返りを行うことが難しい
- 普段から「感情を言葉」にしていけないので、書けない生徒が多い
- 日頃から業務追われており、生徒たち1人1人と向き合う時間が取りづらい(変化を察知するのが大変)
- 与えられたテーマに対して適切な情報の集め方がわからない、社会課題と自分ごとの接続が難しい
- 児童一人ひとり異なるテーマへの始動・フィードバックが困難。教材準備や個別のフィードバックに膨大な時間かかり、主体的・対話的・深い学びを実現する探求活動が実現できない。

サービスが果たす役割

- muute for schoolを導入することで振り返り習慣が身につく
- 選択記述式になっているので、書けない生徒でも「感情」や「思考」を整理しながら「自分の言葉」で書くことができるようになる
- 生徒たちが日常的に「感情」を口にしやすくなる
- 先生が管理画面をみて「クラス全体」と「生徒一人ひとり」の心理的状态を把握できるようになる
- SDGsゴールの幅広い社会テーマを題材に国内外の多角的な視点から社会の本質的な課題について考えることができ、考える力を養う
- クリティカルは豊富な教材が収録されている授業準備にかかる時間が削減する

■ 探究・校務改革支援補助金における活用場面

サービスの活用風景・授業の流れ

「muute for school」は日々の感情や思考をアプリ上に記録をしていき、AIがフィードバックをくれるサービスであり、朝の時間や帰りの時間に記録しながら自己理解を促します。「クリティカル」は総合的な学習の時間で活用できるプログラムで、さまざまな社会課題を発見し、情報収集、整理分析、まとめ表現までを体系的に学習できます。

AIジャーナリングアプリ
 「muute for school」

生徒向け説明資料



muute をダウンロードください

皆様の投稿内容は守られていますので、安心してご使用ください

- 誰が何を入力したかを特定することは行ないません
- 先生には、クラス全体の統計的な情報のみが共有され、皆様個々の入力内容は共有されません

使用用途：朝礼 or 夕礼



こんにちは

1日の様子を書き出してみよう

今日のチェックアウト

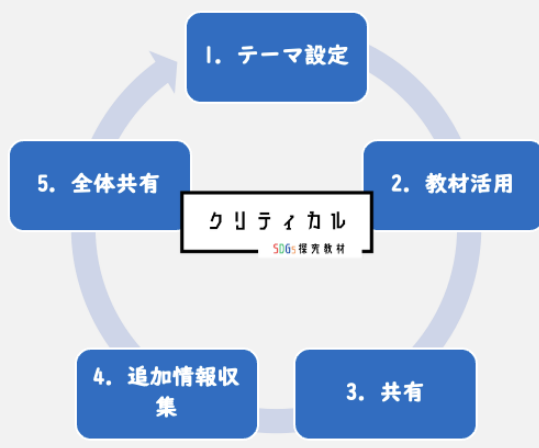
先生側の管理画面



117pt

106

SDGsオンライン探求プログラム
 「クリティカル」



クリティカル
SDGs 探究教材

1. SDGsのゴールを設定
2. 教材を活用し、情報収集
3. 収集した内容をグループ内で共有
4. 共有時の疑問点をさらに情報収集
5. 全体に共有

実際具体的な活用場面

<muute for school> 日々の朝の会・帰りの会（授業終了時）に使用

※写真許可承諾ができなかったため写真添付なし

<探究オンライン教材クリティカル>総合的な探求学習の単元の授業づくり（カリキュラム作成時）に使用



活用場面：朝の会・帰りの会

チェックイン・チェックアウト機能



活用場面：授業カリキュラム作成時

1. テーマ設定型 SDGs探究

学習するSDGsゴールを設定し、探究活動を進めていくパターン

2. 個人研究型 自己探究

個々人の興味関心に合わせてSDGsゴールを設定し、自己探究するパターン

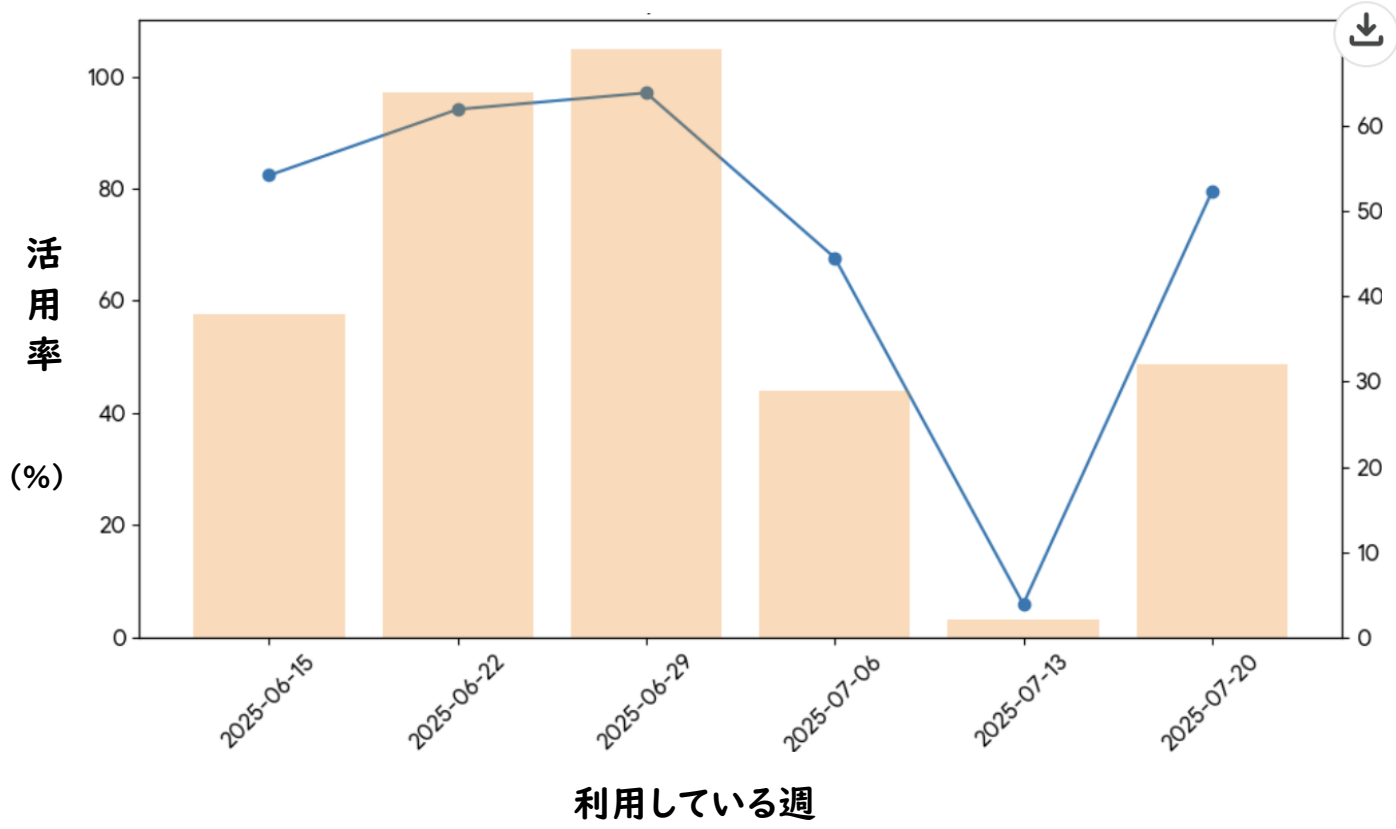
本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	1校	学校等教育機関数	1校
--------	----	----------	----

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	軽井沢町教育委員会	軽井沢西部小学校	長野県	小学校	4	総合的な学習の時間

定量的効果検証

週ごとの投稿数



muute for school管理画面データより 利用者数:179名

■「muute for school」の利用から

- ・週ごとの投稿数をみると、「習慣化に必要な期間（利用開始から3ヶ月間）」に利用率が97.1%に到達している。
- ・生徒の「書く習慣」の定着したことが検証の成果としてあげられた。

青色の折れ線が「クラス全体の活用率」
オレンジ色の折れ線が「週ごとの総投稿数」

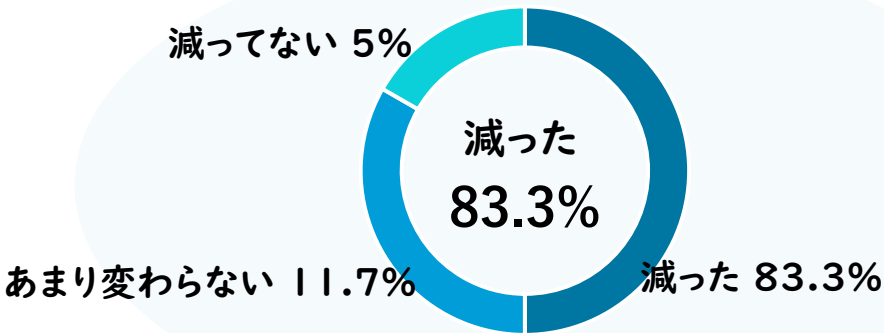
■【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定量的効果検証

■SDGsオンライン教材「クリティカル」の利用から

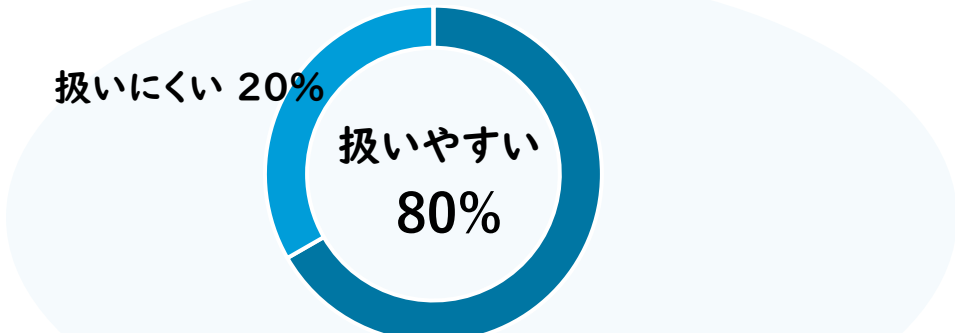
<教員が抱える課題に対して>

Q.本教材によって授業に事前準備や資料の用意の時間が減ったと思いますか？



授業準備時間

Q.教材の内容や流れは、授業や生徒の学習にとって扱いやすいと思いますか？



教材の扱いやすさ

先生方の「授業準備」に該当する、資料作成や、生徒への授業時のトークスクリプト、課題のプリントの用意に覆われる問題が明らかに解消しというのが結果からわかる。
デジタル世代ではない教員の方にとっては少しシステム理解に時間がかかったというのもわかる。

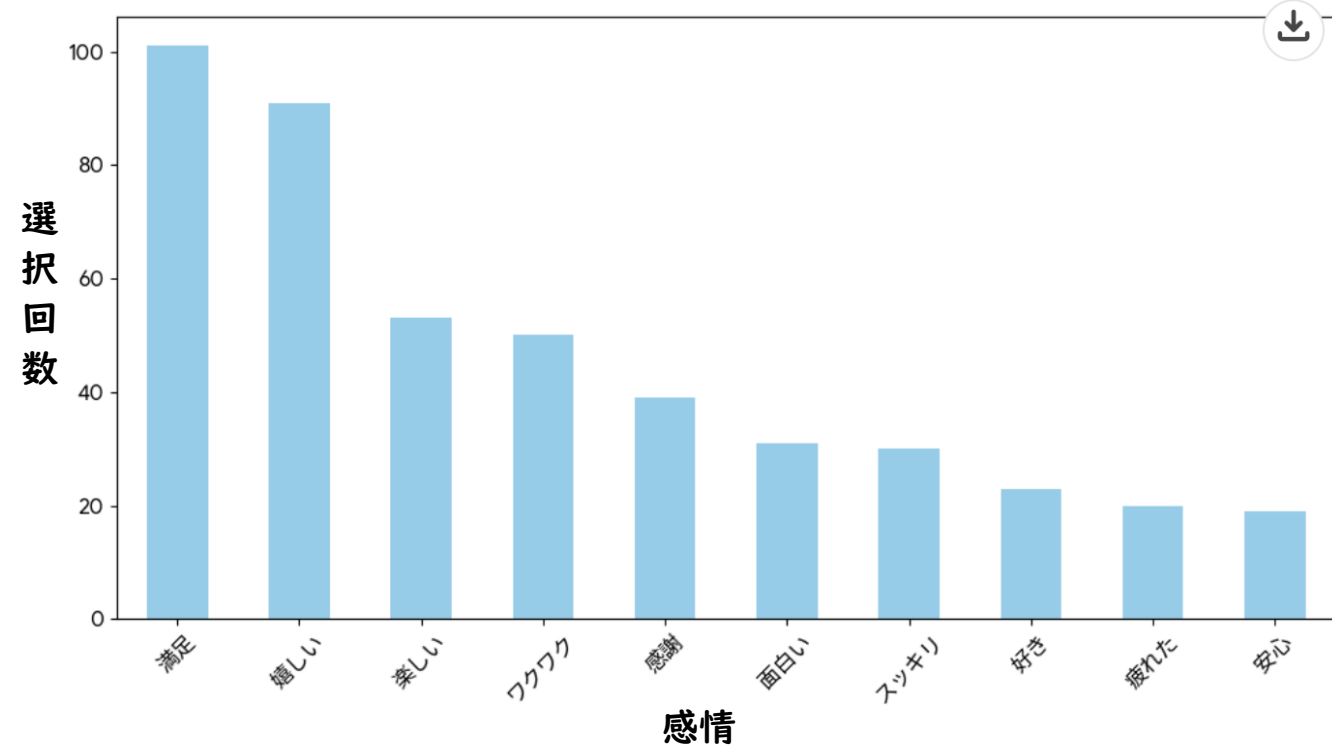
採択学校の教員にとってアンケート結果より 回答者数:8名

【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定性的効果検証

「muute for school」の利用から

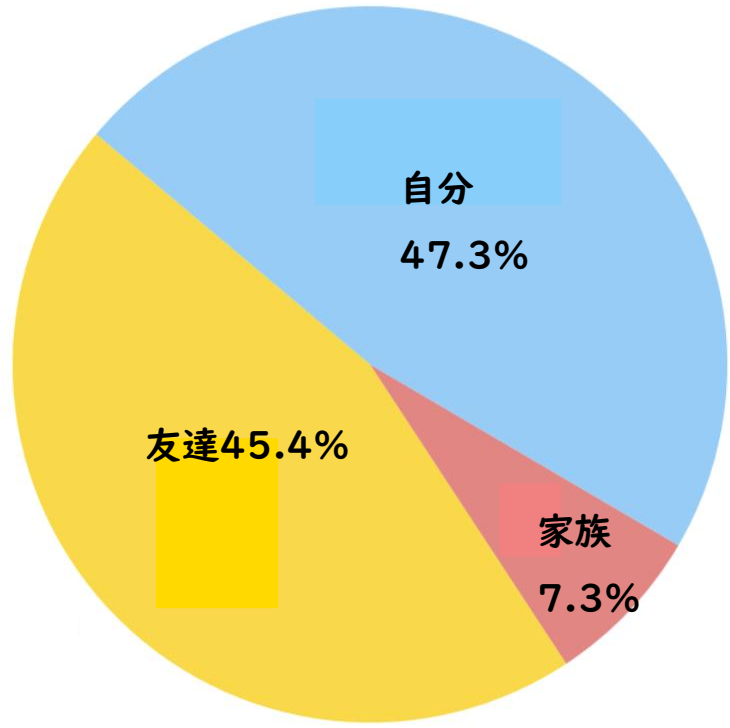
TOP10 感情の内訳



採択学校の生徒のmuute for school管理画面データより 利用者数:179名

「満足」「嬉しい」が突出していて、次いで「楽しい」「ワクワク」が続き「感謝」も上位にランクインしており、**肯定的な自己・他者認識が高い**結果となりました。

投稿トピックの割合



採択学校の生徒にとってアンケート結果より 回答者数:179名

「自分」と「友達(他者)」についての記述が**ほぼ同じ比率**ということから**内省と他者関心・理解の高い**結果となりました。

アプリの利用継続に留まらず、記録内容の多様化・安定化していることから、生徒が自ら客観的に観察する「メタ認知能力」を獲得

【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定性的効果検証

■SDGsオンライン教材「クリティカル」の利用から

<教員が抱える課題に対して>

Q.本教材利用を通して
あなたのSDGsへの理解の深まりに繋がりましたか？



Q.以前に感じていた学校・生徒の課題を
本教材によって解決したと思いますか？

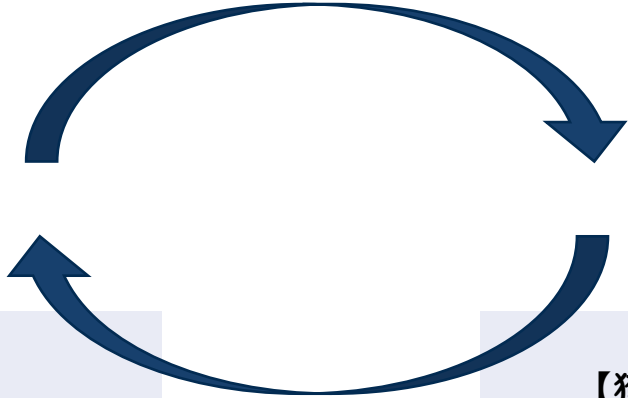


先生方がゼロから資料や教材を作成する必要がなく、カリキュラム作成などの業務削減を可能にしたことによって
生徒へより深い「探究学習」を実施することが出来た。

採択学校の教員にとってアンケート結果より 回答者数:8名

コンソーシアムを組むことによる相乗効果

「muute for schoo」と「クリティカル」がコンソーシアムを構成することの相乗効果は、様々な体験や社会テーマを取り扱う「クリティカル」で多くの新しい気づきを外部から獲得し、内面的な自己発見や自己理解を「muute for school」を活用することができるため児童生徒の学びをより深めることができます。



【獲得できるスキルやマインドセット】

- ・自己理解
- ・自己内省
- ・自分の感情や思考の癖
- ・その時の状態

自分をよりよく知る

【獲得できるスキルやマインドセット】

- ・SDGsに関連する多岐にわたる社会課題を知る
- ・社会課題解決の思考力
- ・論理的思考力・批判的思考力
- ・フィールドワーク等の外での体験

外の世界を知る

「muteの時間だよー！」って
生徒たちが声をかけて取り組んでいた！

生徒が楽しそうに取り組んでいる姿を
みれたので導入してよかった！

iPadのほうが書きやすい！

生徒の感情分布を画面みて「疲れてる？どうした？」と声を
かけられるようになった！

書いた内容が先生は気になる！

最初は文字を打ち込むのに苦戦している様子でしたが徐々
にタイピングにも慣れている様子でした！

感情を選ぶが楽しかった！

SDGsに興味をもった！



いろんな社会課題を知れた！

ポスターをみて
muteやろう！って気持ちになった！



■ 探究・校務改革支援サービスを活用するにあたっての課題とその改善策

「muute for school」を導入後に顕在化した「生徒利用率の低下」および「運用不可の増大」という実運用上の課題に対して、「日常業務により連動した運用フローの再構築（利用のタイミングの見直し）」と「システム機能の最適化」や「ポスターの掲示」のオンラインとオフライン両面からアプローチすることで、課題を解消します。また、「クリティカル」については小学生で扱うには難しいため、小学生でも短時間で社会課題について考える力を養い、楽しめるパッケージを作成します。

直面した課題

- 生徒の記述内容（理由や背景）を一覧で把握できない
- 感情のみでは支援の判断が難しく、文脈理解が必要
- データ閲覧の頻度はウィークリーで、忙しい教員の業務の負担が課題
- 書いた本人である生徒自身も、自分の過去の投稿を振り返る習慣が形成されない
- 導入時は生徒たちが書いてくれたが、だんだん利用頻度が減っている
- 取り扱う社会課題が難しく、小学校高学年でも理解するのに苦戦していた
- 全ての教材を実施するのに時間が足りなかった

解決するための改善策

- 朝の会のみで使用していたものを授業の終わりとかで使用し、使い方自体を変えて改善
- アラート機能を管理画面に追加し、緊急時対応のみわかるように改善
- まずは週の終わりに「ウィークリーインサイト」を全員で確認する時間を確保する
- 教室にポスターを掲載して、生徒たち同士で声かけして取り組み仕組みを作れるように改善
- 教材を数時間で終わる短いパッケージを作成
- 小学生でも楽しめる授業プログラムの作成

■会社概要

社名	Nissay MIRAIQA株式会社
代表	関 正之
設立年月	2025年11月
本社	東京都渋谷区恵比寿4-7-6
資本金等	非公開
売上高等	非公開
従業員数	25名
事業内容	ヘルスケア・子育て関連事業

■お問い合わせ窓口

社名：Nissay MIRAIQA株式会社
 担当：大杉 磨睦
 電話：070-1506-2627
 Mail：maromutsu.osugi@miraiqa.co.jp

社名	一般社団法人国際エデュテイメント協会
代表	森 俊介
設立年月	2018年6月
本社	東京都千代田区西神田3丁目8-5 ビル西神田3階
資本金等	非公開
売上高等	非公開
従業員数	7名
事業内容	まなびDX事業 次世代コンテンツ開発事業 教育プロデュース事業

■お問い合わせ窓口

社名：一般社団法人国際エデュテイメント協会
 担当：森 俊介
 電話：090-8510-7329
 Mail：info@iueo.or.jp